

センターコンソールSC-SL2N 取付説明書

- 取り付け工事を行う前に必ず読んでこれに従ってください。
- 室内機、室外機の取付説明書も合わせて参照してください。
- 本製品は精密機械ですので、落としたり、踏まれたりすると破損する場合があります。お取り扱いには充分ご注意ください。

安全上のご注意

PJZ012D062

- 取り付け工事はこの「安全上のご注意」をよくお読みの上確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は「△警告」「△注意」に区分していますが、誤った取り付けをされた場合に死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に「△警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「△注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取り付け工事後、試運転を行い異常が無いことを確認すると共に、取扱説明書にそってお客様に使用方法を説明してください。またこの取付説明書は、お客様で保存頂くように依頼してください。

△ 警告

- 取り付けはお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で取り付け工事をされ不備があると、感電、火災の原因になります。
- 取り付け工事は、この取付説明書に従って確実に行ってください。取り付けに不備があると、感電、火災の原因になります。
- 設置工事は必ず付属品及び指定の部品を使用してください。指定の部品を使用しないと、感電、火災の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び取付説明書に従って施工してください。施工に不備があると感電、火災の原因になります。
- 配線は、所定の電線を使用して確実に接続し、端子接続部に電線の外力が伝わらないよう確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。

△ 注意

- アース工事を行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電の原因になることがあります。
- 次のような場所への設置は行わないでください。
 1. 油がたちためたり、調理場など、油の飛散や蒸気の多い場所。
 2. 亜硫酸ガスなど腐蝕性ガスの発生する場所。
 3. 電磁波を発生する機械がある場所。制御系統に異常を生じ、正常な運転ができない原因になることがあります。
 4. 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所及びシンナー、ガソリンなど揮発性引火物を取り扱う場所。万が一ガスが漏れて、機器の周囲に溜まると発火の原因になることがあります。

1 適用機種 スーパーリンク対応全機種

2 付属品 (次の付属品を確かめてください)

①センターコンソール	②取扱説明書	③スイッチ表示ラベル	④なべ小ねじ	⑤丸形圧着端子
			M4×25×4個	大2個 小2個

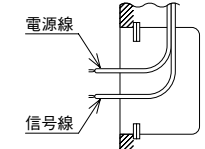
取り付けには下記のJISボックスをご使用ください。

使用可能なJISボックス (現地手配)

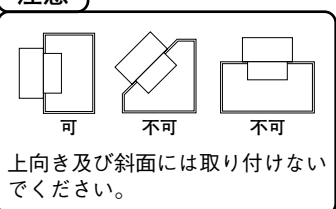
- JIS C 8340 スイッチボックス3個用 (カバー無し)

取り付け方法

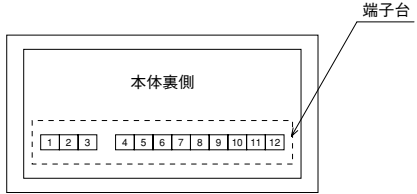
- (1) 壁埋め込みの場合、電源線と信号線およびJISボックスをあらかじめ埋め込んでおいてください。電源線と信号線は誤作動防止のため、分離して配線してください。
- (2) 下記の手順にしたがって、上ケースを開けてください。
 - ① 左右側面の凹部に手をかけ手前に引いてカバーを下に開ける。
 - ② +ドライバーでねじを外す。(なくさないようにご注意ください)
 - ③ 上部を軽く押しながら、④の方向に開く。



注意



- (3) 端子に電源線を配線してください。**(4) 電気配線**を参照してください



注意

電源電圧を確認し、100V、又は200Vを正しく接続してください。

- (5) 精密ドライバーにより制御切換設定をおこなってください。(詳細は**5 制御切換**を参照してください)
- (6) 本体画面の保護シートをはがしてください。
- (7) 上ケースを元通り下ケースにはめ込み、ケース取り付けねじ**(取り付け方法 (2) ②)**をしめてください。取付完了です。

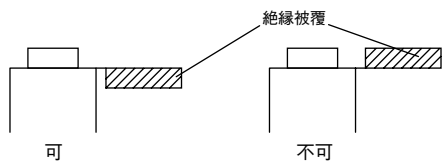
注意

ケースと電源キットは一体型です。分離しないでください。

4 電気配線

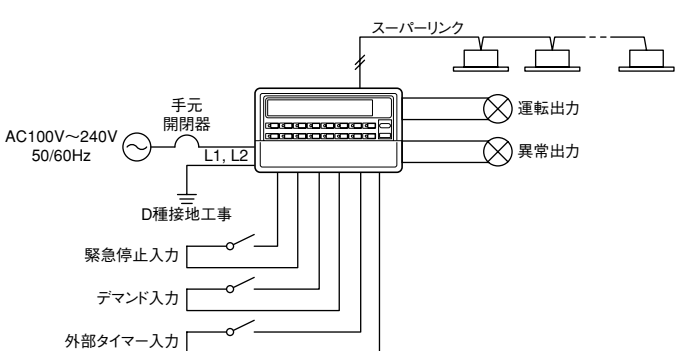
- 本体への配線は安全の為全て絶縁スリーブ付きの丸形圧着端子を使用してください。
- D種設置工事は必ず行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
- 電源(手元開閉器)は全ての作業が終わるまで入れないでください。
- 電源は室内機室外機の電源投入後2分以上経過した後に入れてください。
- 図中の本体以外は現地で手配してください。(配線、スイッチ、リレー、電源、ランプ等)
- 容易に接触可能な遮断装置を必ず建築設備配線に組み込んでください。
- 電源部端子台およびスーパーリンク端子台への配線は、必ず付属の丸型圧着端子を使用してください。

端子の向きは下図の様にしてください。



配線時には端子台のカバーを取り外して作業を行ってください。作業終了時に、端子台のカバーを元通りに取り付けてください。誤って感電することを防止するためのカバーです。

配線概要



配線仕様

電源配線	1.25mm ²
手元開閉器	10A
スーパーリンク信号線	0.75mm ² ~1.25mm ² のシールド線(MVVS 2芯) (注1、注2)
運転出力・異常出力	0.75mm ² ~1.25mm ² のCVV, CPEV(2芯)
デマンド入力	最大200m
緊急停止入力	最大200m
外部タイマー入力用配線	0.75mm ² ~6mm ²
アース線	0.75mm ² ~6mm ²

(注1) 本集中コントローラを使用する場合は、スーパーリンク信号線をシールド線にしてください。シールド線は両端をアースしてください。(本体側のアースは「システム配線」の章に記載してください。)

(注2) ネットワーク接続室内機・室外機が全て新スーパーリンク対応機の場合、総配線長1500m/系統の配線が可能です(最長は1000m)。ただし、総配線長1000mを超える場合は配線径を0.75mm²としてください。詳しくは代理店または販売店に確認してください。

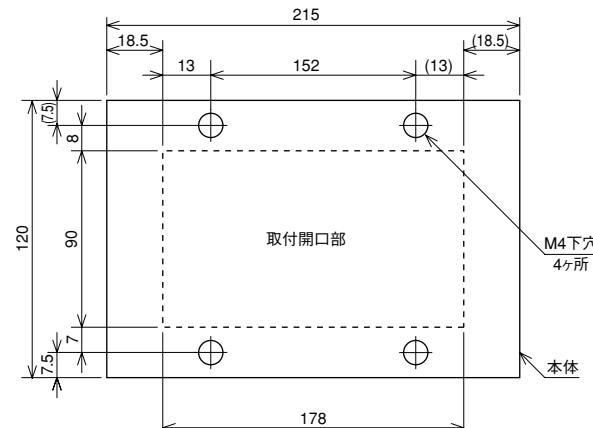
3 取り付け工事

感電の恐れがあります。必ず電源を切って作業してください。電気配線に無理な力が加わらない様に、配置又は保護してください。制御基板は上下ケース両方についています。ドライバー等で基板に傷を付けない様に注意してください。また、基板は静電気に弱いため、作業前に体にたまっている静電気を除去してください。(アース工事されている制御盤等に触れることにより除去することができます)

取り付け場所

電磁波の影響を受けたり、水、ホコリなどのかからない屋内に設置してください。本製品の使用温度範囲は0℃以上40℃以下です。周囲温度が使用温度範囲内となる場所に設置してください。もし、使用温度範囲を超える場合には、必ず冷却ファンを取り付ける等の対策を行ってください。使用温度範囲を超えて使用されますと動作不良の要因となりますのでご注意ください。

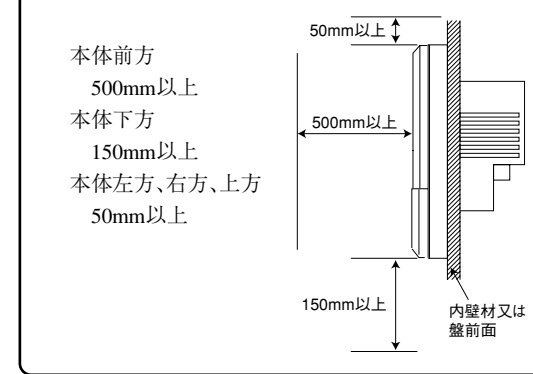
取り付けに必要なスペース



点線は盤取り付けの場合の取付開口部(寸法は一例)です。壁埋め込みの場合はJISボックスが通る大きさの開口部としてください。

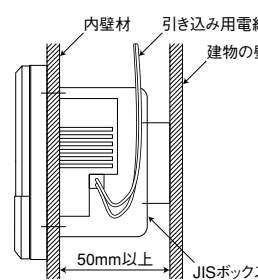
- (1) **盤取り付けの場合**
感電防止の為、必ず鍵のかかる制御盤に取り付けてください。保温材や断熱材を使用されると熱がこもり、本体の動作に影響することがありますので使用しないでください。
- (2) **壁埋め込みの場合**
壁内のスペースは10分確保されていることをご確認ください。壁内の温度が40℃を超える場合、盤取り付けとしてください。

サービススペース

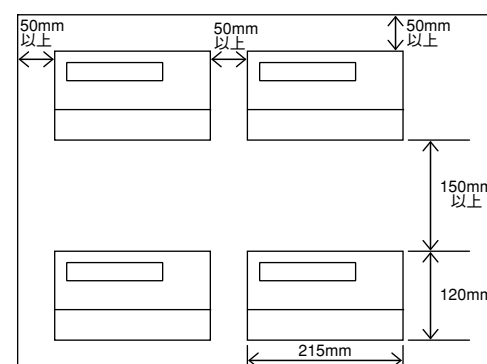


注意

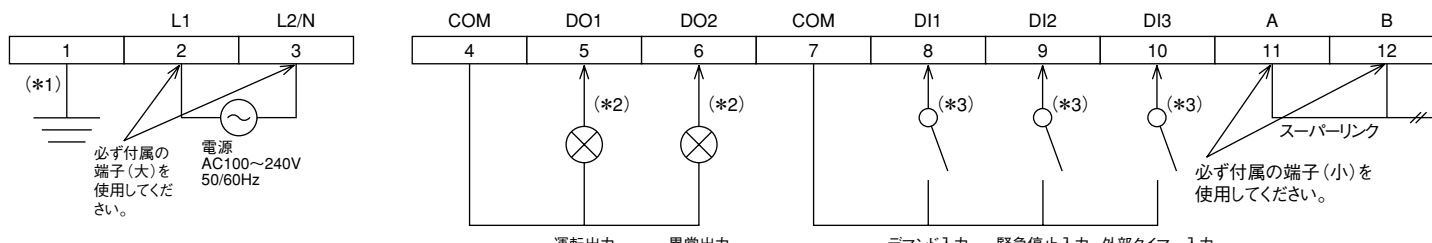
同一制御盤中に周囲温度を上昇させる要因となる機器を設置しないでください。又、複数のコントローラを同一の制御盤に取り付けしないでください。熱がこもり動作不良の要因となります。やむを得ず同一制御盤に取り付ける場合は、冷却ファンを取り付ける等、制御盤内の温度を40℃以下に保つ対策を行ってください。



複数のコントローラを連続設置する場合は、図の様に機器間隔およびサービススペースを確保してください。



システム配線



- (*)1 通信線アースと、電源アースを接続してください。
 - (*)2 現地手配りレー仕様が定格電圧DC12V、最大消費電力DC0.9W以下(80mA以下)のものを選択してください。(例: 松下製AJQ3349F、オムロン製LY2F)
 - (*)3 現地手配りレー仕様が無電圧a接点入力、最小適用負荷DC12V、10mA以下を保障できるものを選択してください。(例: オムロン製LY2F, MY2)
- DO、DIの端子は極性があります。一つの端子に接続する電線は3本以上接続しないでください。

注意

電源線は他の端子に接続しないでください。間違っていると電気部品の破損、焼損を招き非常に危険です。電源を入れる前にもう一度配線のチェックをしてください。

5 制御切換

本センターコンソールのプリント基板上スイッチSW1~10、J1、J2、J3の設定変更により下記の制御を変更することができます。

(1) スイッチ

SW No.	出荷設定	ON	OFF	内容
1	ON	右表	右表	停電補償機能切換
2	ON	右表	右表	停電補償機能切換
3	OFF	自動設定可	自動設定不可	運転モード自動設定可否
4	ON	表示	表示しない	フィルタサイン表示非表示
5	ON	新	旧	スーパーリンク新旧(*)1
6	ON	センター&選風	センター	デマンド入力時送信内容切換え
7	OFF	—	—	(OFFのままとしてください)
8	OFF	時刻 日月 月.日 時刻	時刻 日月 月.日 時刻	異常履歴時刻表示切換え
9	OFF	自動復帰	停止のまま	緊急停止入力解除時動作
10	OFF	—	—	(OFFのままとしてください)

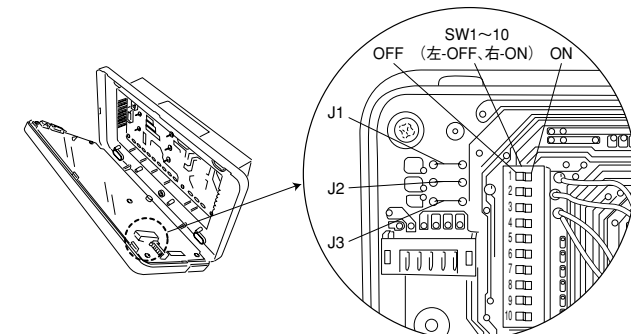
(2) ジャンパー線

短絡(出荷時)	切断時	機能
J1 設定可	設定不可 (外部入力時も送信しない)	センターリモート設定(*)2 (含リモコン機能毎許可禁止設定)
J2 —	—	(切断しないでください)
J3 —	—	(切断しないでください)

- (*)1 接続ネットワークが旧スーパーリンクの場合は切換えが必要です。実際の接続ネットワークが新スーパーリンクか旧スーパーリンクかについては接続室内機や室外機等の形式によります。代理店または販売店に確認してください。
- (*)2 J1切断時は本センターコンソールからセンターリモートは送信しません。複数のセンターコンソールが設置され、他にメインのセンターコンソールが存在する場合には切断してください。J1切断時はデマンド入力時は送風のみ(SW6OFF時は何もしない)、緊急停止入力時は停止のみを送信します。

停電補償機能切換え

SW-1	SW-2	機能
ON	ON	復電時刻のプログラム設定を送信 (復電時刻のプログラムがなければ停電前の運転状態を送信)
ON	OFF	停電前の運転状態を送信 (設定しないでください)
OFF	ON	復電時自動復帰しない



6 制御対象ユニット号機の設定

本センターコンソールで管理するユニットを設定してください。設定方法は本体付属の取扱説明書を参照してください。出荷時は全てのユニットが管理対象外に設定されているため、本センターコンソールで制御するユニットは必ず制御対象ユニットに設定してください。設定区分は次の3種類です。

- ① 本センターコンソールの制御対象でグループ管理するユニット → グループ設定
 - ② 本センターコンソールの制御対象でグループしないユニット → 個別設定
 - ③ 本センターコンソールの制御対象外とするユニット (または他のセンターコンソールで制御したいユニット) → 管理対象外ユニット
- 必ず現在時刻を設定してください。プログラム設定や異常履歴表示に必要です。

●複数台使用時のグループ制御

本センターコンソールの制御対象ユニットは最大64台です。(旧スーパーリンク設定時は最大48台) 65台以上の空調機を制御する場合は、本センターコンソールを複数設置してください。

1ネットワーク上に本センターコンソールを複数台接続する場合は、各々のセンターコンソールで任意にグループ設定を行うことができます。

